

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自然災害が身近な所で起きている事から、日頃からの備えが重要と考えている。年2回の防災訓練を実施しているが、漁港が目の前という立地環境であり津波、水害等の災害に対する不安がある。	昨年の台風の影響によりライフラインが途絶え利用者に不便な思いと、ご家族に不安な出来事となった。今年発電機2基設置した。どの様な災害に対しても誰もが発電機、消火器等を適切に使用し適切な行動が出来る。	ユニットから各1名ずつ防災担当を決め、防火管理者と共に防災全般について取り組む事とした。90才以上の利用者や、移動時の要介助者も多い事から協力体制を見直す事として運営推進会議の会員の皆様に提案し助言や協力を得る事とする。	12ヶ月
2	30	経営主体が病院である事から医療連携の体制は整っている。月1回の定期受診、急変時の受診に対して職員が担当医師に合わせた受診日を決めて計画を立てているが受診対応が可能な職員に限られる事、またその間ホームのケアが手薄になる。	医療連携により週1回の訪問看護師により一人ひとりの利用者が健康チェックを受けている。利用者の半数以上が90才以上であり場合により通院の負担を垣間見るときがある。医療連携の体制作りとして訪問診療が可能となる。	訪問診療となると担当医師、看護師の人員体制を要する事から早急に実現とは難しい事であると解釈しているが、必要に応じて対応をしていく、というまずは一歩から。訪問診療を必要とする利用者一人から始める事を医療連携会議等で提案する。	12ヶ月
3	36	「適切な声掛け、接遇について」「マナーやモラルの精神について」等、日常的な課題である。馴染みの関係がゆえに配慮を要する言葉使い、居場所である居室の侵害等、プライバシーを保護し一人ひとりの人格を尊重したケアに対しての課題がある。	職員一人ひとりが心のスキルを向上していく事が大切であると考え。学びの機会を作り自己の精神に落とし込めるか否かは、自己の裁量に大差がある。まずは職員同士で良い点は褒め、問題点は話し合う、を繰り返し構築する。	限られた空間だからこそ大切な居場所と認識し、馴染みの関係だからこそ敬意を持った接遇と尊重した会話に努めなければならない、という常に基本姿勢に立ち戻る機会を作っていく事としている。そういう姿勢を構築し新人職員を育てていきたい。	12ヶ月
4	49	外出支援について、これまでも課題として挙げてきたが全員対応の桜花、紅葉ドライブは恒例となっているが個別に於ける外出支援については利用者に偏りがある。本人希望による事や皆さんが定期的に外出が出来る事を実現出来ること。	デイリープログラムに外出支援(散歩)を組んでいる。職員一人ひとりが当日の天候や利用者の体調、希望等について考慮し、人員配置等も整えた上で一日の中で外気に触れたり施設外に出掛け、人や事物に触れる機会を作る。	新型コロナウイルス感染の影響もあり、利用者の体調管理が第一として職員の感染症対策もしっかりした上で外出先の安全確認も必須である。遠路でなくても180度太平洋を望める立地にある事を生かし陽ざしを浴び外気に触れる機会を日常とする。	12ヶ月
5	6	日頃から何気なく習慣化されてしまっているベッド柵等の使用や玄関の施錠に関して、安心、安全の理由とはいえ施設全体で日常化している傾向にある。	ベッド柵使用、玄関の施錠等に関して職員全員で使用する理由、期間等を検討していく。身体拘束適正化委員会をケア会議に組み込み、拘束の一件一件につき深掘りしていく事、それにより虐待に繋がらない一歩手前のケアを行う。	新人職員が増えた事を良い機会として定期的に基本を振り返りする事は大切であると考え。以前よりスピーチロック等は取り上げ尊重した接遇に努めてきたが、加えて日常の行為の見直しを定期的に行う事とし、ご家族にも報告していく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。